

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

※無断転載禁止

レジメン番号： BRST-149

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん (HER2陽性)	PHESGO + DTX75	21日間	【術前/術後】 4コース (+α) 【進行再発】 6コース+α	■ 進行/再発 ■ 術後補助化学療法 ■ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	軽度	WO40324試験(FeDeliCa試験) Tan AR, et al. Lanc Oncol.2021;22(1):85-97.

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	フェスゴ	IN (初回のみ)	皮下注	8分以上	↓																				
		MA		5分以上																					
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	30分※	↓																				
③	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	ドセタキセル 生理食塩液	75mg/m ² 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				

＜注意事項/備考＞

- ✓ 【投与期間】 (術前) 4コース、(術後) 4コース施行後、PER+HERを計1年間、(進行再発) 6コース施行後、フェスゴを病勢進行まで継続可
- ✓ フェスゴ：投与部位は大腿部のみであり、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離れた場所に投与すること
- ✓ ※フェスゴ投与後の生理食塩液は、初回のみ30分、2回目以降は15分まで短縮可能
- ✓ 浮腫 (DTX)：総投与量350-400mg/m²以上で頻度上昇。足のむくみなどの症状に注意、予防のためのDEX内服も検討
- ✓ 心障害：投与中は心エコー等を用いて心機能評価を
- ✓ インフュージョンリアクション：悪寒、発熱、呼吸困難など。状況に応じて抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛薬などの投与を検討

:»



»et

